

長崎県立大学シーボルト校生協 話そう会



[新学期]

取り組み概要

日時：3月27日、28日
場所：長県大シーボルト校 体育館
参加者数や組合員の反応：1日目：55人、
2日目：25人。今年度入学する新入生同士
が交流できるイベントです。

- 背景や概要：ここ数年なくなっていた対面形式
- でのイベントが復活しました。新入生同士の距
- 離を縮めてもらいたいとグループ別で行う様々
- なゲームを行いました。トークタイムでは先輩
- と交流する時間もあり、盛り上がっていました。

入念な準備と細かな工夫で
笑顔あふれる交流会に

POINT.1

リハーサルを繰り返し、改善点を細かくチェック！



本番を想定したリハーサルを繰り返し行い、その都度**反省点や改善点**についてみんなで意見を出し合っていました。ゲーム説明のデモンストレーションのやり方や声の大きさ、説明のわかりやすさなど、何度も確認を行うことで企画内容や運営の動きをよりレベルアップさせたイベントにできていました。
リハーサルでは緊張気味だった司会担当の学生委員も、当日は元気よく進行している様子がみられ、会場も盛り上がっていました。

POINT.2

3つのゲームで協力プレイ！

当日は、「積み木自己紹介」「方言ゲーム」「〇〇といえばゲーム」を行いました。班のメンバーで**協力しながら答えを出すゲーム内容**にすることで、ぐっと新入生同士の距離が縮まるきっかけにできていました。GLを中心に会話を盛り上げ、時間がたつにつれてどのグループからも笑い声が聞こえてくるなど、参加者の笑顔もたくさん見ることができました。



POINT.3

トークタイムでより深く交流を！



ゲーム終了後は学科別で集まって交流する時間がとられました。参加者は**同じ学科で学んでいく仲間や先輩とのつながり**を作ることができていました。開始直後は大きかった学生同士の円もゲームが進んでいくにつれて距離が近くなっているのが目に見えてわかりました。ゲーム中、トークタイム中のみならず休憩中も新入生、学生委員ともに談笑して盛り上がっていて企画を行う意味があったのではないかと思います。

